

# 第1学年 算数科学習指導案

令和4年10月26日(水) 6校時  
 児童 第1学年3名 授業者 岡崎 美和

1. 単元名 「1 2. かたちあそび」(東京書籍)
2. 単元のゴールと指導

単元の目標
身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能をとらえ、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能をとらえたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
学習指導要領の位置づけ
B(1) 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア【知・技】 (ア) ものの形を認め、形の特徴を知ること。 (イ) 具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。 (ウ) 前後、上下、左右など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すこと。 イ【思・判・表】 (ア) ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりすること。 【学・人間性】 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

児童の実態	単元の学習の関連と発展
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童は、就学前にはいろいろな形の積み木を使って遊んだ経験はあり、学習や生活の中で「まる」や「さんかく」などという言葉が出ることもある。しかし図形として捉えているわけではなく、児童にとっては本単元が初めての図形学習となる。</li> <li>授業では思考することや自分の考えを発表することに抵抗を感じる児童もおり、学習の広がりには欠ける。また作業に要する時間にも個人差が見受けられる。</li> </ul>	

単元計画【全4時間】
1・2. ものの形に着目し、身の回りの具体物の概形をとらえ、観察や構成を通して立体図形の特徴や機能を知る。 <b>習得</b> 3. ものの形に着目し、身の回りの具体物を概形や特徴、機能から分類する。 <b>活用 本時</b> 4. 立体図形を構成する面の形に着目し、平面図形を見出す。 <b>活用</b>
指導について
<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は自由に色々な形の空き箱を触り、形の特徴や機能を観察する活動をする。そしてそれらを使って電車やタワーなどを作る活動を通して、立体図形の特徴や機能に目を向けさせていく。</li> <li>形作りで気づいたそれぞれの立体図形の特徴や機能によって、3人で仲間分けをして名前をつけ、なぜそう考えたかみんな考えていくようにする。</li> </ul>
研究主題との関連
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中では、自分たちで学習を進める学習リーダーを意識させながら、問題やめあてを読む時の声かけをまかせていくことから始めている。メニューボードを示すことで流れを理解し、日々の学習を通して誰もができるようにしている。また自分の考えを友だちに伝えたり、友だちの考えを聞くことで学ぶことの楽しさを実感させていきたい。</li> <li>単元の中で ICT の活用は、ジャムボードを活用し書き込みなどをさせていく。</li> </ul>
授業後の子どもの姿 (ゴール)
☆立体図形の特徴や機能によって、いろいろな具体物を分類することができる。 ☆立体図形を構成する面の形に着目し、立体図形の特徴を捉えることができる。

3. 本時の指導（全4時間 本時 3/4）

(1) 目標 箱などの身の回りの具体物の形に着目し、分類する活動を通して、図形の特徴や機能について考えることができる。

(2) 評価規準

**思・判・表** 色や大きさ、位置、材質などの属性を捨象して形に着目し、特徴や機能をとらえ、言葉や具体物を用いて説明している。

(3) 本時の展開

	学習活動	留意点と評価
導入	1. 前時の活動を思い出し、気づいたことや分かったことを発表する。 2. 課題をつかむ。 にているかたちをみつめましょう 3. めあてを確認する。 どんなかたちのなかまにわけられるかな。 4. 見通しをもつ。 ・ころがる ・たかくつめる ・しかく ・まる	・クロームブックで作品の写真を提示する。  <b>見方・考え方</b> ・形の特徴に着目する。
展開	5. 自力解決をする。 6. 分類した結果を発表する。 ・なぜそう分けたか理由を説明する。 7. 分類した形に名前をつける。 はこのかたち さいころのかたち ボールのかたち つつのかたち	・わけにくいようだったら直方体、立方体・円柱、球の積み木を準備しておき、抽象化した図形としてみせる。 ・なぜそう分けたか理由を話すようにさせる。  ・児童の表現を大事にする。 <b>思・判・表</b> ・色や大きさ、位置、材質などの属性を捨象して形に着目し、特徴や機能をとらえ、言葉や具体物を用いて説明している。 <b>【観察】</b>
まとめ	8. まとめ ・いや大きさがちがっていても、かたちのなかまわけができる。 ・はこのかたち ・ボールのかたち ・さいころのかたち ・つつのかたちにわけることができる。 9. 適用問題をする。 形当てゲームをする。 10. ふりかえりを書く。	・本時で分かったことを全体でまとめる。

(5) 準備物 箱などの具体物、クロームブック

(6) 板書計画

10/26	にているかたちをみつめましょう。 どんなかたちのなかまにわけられるかな。 かたちのとくちよう	・はこのかたち ・ぼーのかたち ・さいころのかたち ・つつのかたち  ・いや大きさがちがっていても、かたちのなかまわけができる。 ・はこのかたち ・ぼーのかたち・さいころのかたち ・つつのかたち にわけることができる。
-------	--	--

